

1947年 Model A A型

Honda の名を燃料タンクに採用した「自転車用補助エンジン A 型」。前年に発売した「自転車用補助エンジン」が好評を博し、短期間で 500 基が完売したことから、旺盛な需要に応えるために自社製のエンジンを新規開発しました。

A 型エンジンには大量生産を目指したダイキャスト鑄造が取り入れられ、コンベアラインを新設した工場生産。また、使い勝手を高めるために、特許を取得したクラッチ兼用の手動式ベルト変速装置を採用しました。

当時の浜松市周辺では、A 型のような補助エンジンを取り付けた自転車が多く見られ、エンジン音から“ポンポン”とか“バタバタ”と呼ばれました。



燃料タンクの Honda Motor のロゴ

主要諸元

エンジン形式	2 ストローク単気筒 ローターリーバルブ
排気量	50cc
最高出力	1.0PS/5,000rpm